

# オージオグラムダイレクト

## よくある質問



**Q: いつオージオグラムダイレクトを使用すれば良いのですか？**

A: オージオグラムダイレクトは、聴覚専門家が補聴器を装用した状態の顧客の聞こえを測定する機能です。フィッティング過程において、正確な聞こえのポイントを測定したい時に簡単に行うことができる設計になっています。その他にも、新しくお客様が来られたなど、突然の訪問時に使用することも可能です。ただし、オージオグラムダイレクトはフィッティングを行うために使用するデータであり、専門的な聴力測定と同じではないということを忘れないでください。

**Q: どのようにして音が作り出されるのですか？**

A: 周波数ごとに特化した音は、低電圧のお知らせビープ音やプログラム変更のビープ音が提示されるのと同じ仕組みで、補聴器のチップ内にあるサウンドジェネレーターによって作り出されます。

**Q: どのような測定機材が使用されていますか？**

A: 音は dB SPL で測定されると、フィッティングソフト上で dB HL に変換されて表示されます。これを補聴器で可能にするには、初期設定の RECD を使用する必要があり、そのためには正確な音響パラメータ（ベント径や耳せん）を入力しなければなりません。

**Q: 補聴器、耳せん、チューブを変更したら、オージオグラムは自動的に変更されますか？**

A: 音響パラメータを変更すると再計算が推奨されますが、オージオグラムが自動的に変更されることはありません。正確性を担保するため、何か変更した際はオージオグラムダイレクトで再確認することをお勧めします。

**Q: 通常のオージオグラムとオージオグラムダイレクトを融合させて使用できますか？**

A: いいえ、二者択一になっています。1つのセッションに測定結果を保存することは可能ですが、1つのフィッティングに2つのオージオグラムを使用することはできません。

**Q: どのようにしてオージオグラムダイレクトは正確な閾値の測定と標準的な聴力測定を比較しますか？**

A: フォナックは、異なる全ての補聴器やカプラを使ってオージオグラムダイレクトで各周波数を測定したオージオグラムと通常のオージオグラムとを比較しました。平均として、この2つが一致したものを推測値と定め、オージオグラムダイレクトが作られました。